

第2章 私の看護・介護と死について

老いや病や死は、誰にでも訪れます。目の前に訪れたときには、私たちは様々な選択をし、決断をしなければいけません。はじめにでも書きましたが、元気なうちに自分の意思をご家族と相談しながら問題を考えるようにしましょう。但しここで選択したことは、あくまでもご自身の希望です。ご家族の状況により、必然的に状況が変わることも、頭に入れておくことが必要でしょう。

要介護になった場合

自宅で介護してほしい 専門の施設で介護してほしい

特に希望はありません 家族に任せます

特記事項(希望する施設名など)

老人性認知症(痴呆)になった場合

自宅で介護してほしい 専門の施設で介護してほしい

特に希望はありません 家族に任せます

特記事項(希望する施設名など)

認知症(痴呆)になったらして欲しいこと・して欲しくないこと

認知症(痴呆)になった場合、資産管理をお願いしたい人

名前

電話

住所